

表彰者名 : 公益財団法人 新潟市海洋河川文化財団 様 (新潟県新潟市)
表彰理由 : 平成 2 年から新潟市水族館の管理運営を行い、信濃川の多様な陸水環境と魚類を 10 基の水槽で再現し、来館者へ河川文化について啓発するとともに、川の生き物観察会や希少淡水魚・両生類等の調査を行うなど、河川文化の発展に貢献された。



信濃川水槽



川のいきもの観察会

表彰者名 : 特定非営利活動法人 大川未来塾 様 (福岡県大川市)

表彰理由 : 平成 16 年に設立以来、筑後川下流域を中心に浮遊ゴミの回収や調査など河川の自然保護に取り組むとともに、中学生と協働調査による「筑後川七川日記」や写真集の発刊、デ・レイケ導流堤等歴史的遺構の調査保存活動を行うなど、河川文化の発展、地域活性化に貢献された。(平成 26 年河川協力団体に指定)



写真集 筑紫次郎物語Ⅰ続編

「筑後川下流大川の歴史」
明治・大正・昭和の歴史探訪

■ 発刊日 令和元年 11 月上旬予定
■ 発刊・編集 特定非営利活動法人 大川未来塾
■ 紙布価格 一冊 1,500 円
(送料別途申し受けます)

※11月17日(日) 若津港近代化産業シンポジウム開催時にも販売いたします。

若津港近代化産業シンポジウム

開催日 令和元年 11 月 17 日(日)

会場 大川市勤労青少年ホーム大ホール
〒844-0106 大川市大字小島 94-1
TEL 0944-88-0106

入場無料

このシンポジウムは、(一)若津港近代化産業シンポジウム実行委員会の主催、(二)若津港近代化産業シンポジウム実行委員会の協賛、(三)大川市勤労青少年ホーム大ホールの協賛で開催されます。

「若津港の歴史と役割」
明治・大正・昭和初期の

〈開催趣旨〉
筑後川下流の明治・大正・昭和初期の若津港や深川造船所を核とする写真が、約 100 年ぶりに 200 点発見された。写真集の発刊及び写真展は、下流域の明治以降の時代検証による歴史的事実の再認識の契機となり、また、新たな観光ルートや来るべき有明海沿岸道路開通における拠点の歴史的資料となるものと思われます。

同時開催

- 若津港ウォーキング (3km 程度) 10:00 ~ 11:30
 - 参加料 (資料代・昼食代・保険料含む) 1,000 円 (写真集希望者は別途 1,500 円)
 - 集合 旧三浦銀行
 - 解散 大川フラッツァ (昼食会場)
 - コース 旧三浦銀行→旧熊井家住宅→若津児童公園 (旧深川家若津別邸)→旧国鉄筑後川橋梁 (昇降機往復)→旧深川造船所跡→花京水門
- 筑後川下流近代史の写真展
 - 大川市勤労青少年ホームロビー (11月17日のみ)
 - 11月20日~12月25日 筑後川交流館はなむね

〈シンポジウム開催 & 大川未来塾 20 周年記念発刊〉
百年の時を越えた写真発見!!
甦る若津港と昔なつかし大川探訪

〈発刊目的〉
筑後川下流の明治・大正・昭和初期の若津港や深川造船所を核とする写真が、約 100 年ぶりに 200 点発見された。写真集の発刊及び写真展は、下流域の明治以降の時代検証による歴史的事実の再認識の契機となり、また、新たな観光ルートや来るべき有明海沿岸道路開通における拠点の歴史的資料となるものと思われます。

筑紫次郎物語一統編 内容

序 章 大川の守り神
風流な歴史
近世から近代へ

第一章 若津港造船所を核とした
近代化産業の発展

第二章 大川木三産業の軌跡

第三章 筑後大川の発展
明治・大正・昭和の町並み

第四章 下流筑後川と有明海の恵み
特 殊 港町の街並み・まつり

コラム 作曲家吉沢武男
ふなばし青い空

コラム 山口潤子 (李春麗) と若津港
NPO 法人 大川未来塾の活動の軌跡

申し込み先 FAX 0944-88-0029

シンポジウム・ウォーキング参加申込

申し込み先 FAX 0944-88-0029

氏名 (代名) 年齢 人数 名 電話 携帯

